

NOBIRU



いま やるべきこと



①過去問・類似した問題を解く

私立高校入試まではできるだけ実践形式の問題を解きましょう。まだ過去問を解いていない人は過去問に着手するのはもちろんのこと、すでに過去問を解いた人も、もう一度繰り返し解いてみるのも良いでしょう。

受験直前は、新しいことを詰め込んでいく時期ではなく、これまで学んできたことを実際の入試問題でいかに高い精度でアウトプットできるかという練習を積む時期です。一生懸命受験勉強をしてきた人なら一度は感じていると思いますが、基本的なテキストで知識のインプットや基礎を十分身につけても、いざ入試問題になるとうまく問題が解けない。つまりアウトプットできないという現象が受験勉強ではよく起こります。

◆ 「アウトプット」の意味とは？

アウトプット《output》
出力。⇔インプット。(大辞林 より)

◆ 「インプット」の意味とは？

インプット《input》
中に入れること。入力。⇔インプット。

インプットについて

体験する。知識を得る。自身の体験・学習し得た知識を成果や次の結果につなげる

インプットよりもアウトプットの方が重要！？「インプット」<「アウトプット」

「アウトプット」は「インプット」よりも行動力が必要。そして何よりも、アウトプットがなければ新たな成果や次の結果などにつなげることはできません。

「本番形式」で学習をしましょう。過去の入試問題をしっかりと制限時間を設定し、時間の使い方や問題の解く順番、わからない問題の見極め方などを練習しましょう。

②1日1単元のスピードで弱点分野を問題集でカバーする

過去問で実践形式の問題を解いていくと、やはりこの時期でもどんどん苦手分野は見つかるものです。見つけた苦手分野については、今まで使ってきた問題集に戻ってもう一度復習しましょう。ただし、時間をかけて問題集を解いている時間はありません。苦手分野の復習をする場合、1日で1単元を確実に復習できるような計画を立てること。復習するべき単元が多く、とてもじゃないけれど1日で終わらない場合、1日で終われる分量に、さらに単元を細分化すると良いでしょう。

大切なことは、1日ずつ「この範囲は完璧に復習できた」という実感を積み重ねていくことです。ただでさえ焦りや不安が襲いやすいこの時期。苦手分野をダラダラといつまでも勉強していると、精神的にもよろしくありません。毎日1つでも成長しているという実感を持てる勉強を重ねていくことが、自信にもつながります。



③暗記は演習の中で行う

この時期の暗記モノも、できるだけ入試問題を解く演習の中で行いましょう。単語帳や暗記カード・一問一答形式などを用いての単純暗記は、スキマ時間などを利用して短時間で終わらしましょう。

社会や理科などの暗記が多い科目も、入試になれば、単純に暗記しているかどうかを問う問題というのは非常に少ないものです。実践形式の演習の中で必要なものを再確認して頭に入れること。つまり新しいものを詰め込まず、積み上げてきたものを確実にアウトプットできるようにすることが大切です。

④やってはいけない 単純なインプットばかりの勉強

覚えるべきところをできるだけ単純暗記したい気持ちはわかりますが、単純なインプットばかり繰り返しても、いざ入試問題を解いてみると全く解けないという事態になります。

インプットも、もちろん大切ですが、必ず実践的なアウトプット中心の勉強の割合を多くしましょう。単純暗記などのインプットは、なるべくスキマ時間を利用して下さい。

④やってはいけない まとめノートなどを作り始める

絶対にやってはいけません。受験直前になると、なぜか新しいノートを買ってきて綺麗にノートまとめをやりだす人が少なくありませんが、ハッキリ言ってそれは逃げの気持ちからくる勉強です。まとめノートを作っていると、なんだかもの凄く勉強した気分になる上、頭もあまり使わなくて済みます。この時期まとめノートを作り出す人は、現実から目を背け、実践的な問題に取り組むことから逃げているだけではありませんか？

④やってはいけない 新しい問題集・参考書を買う

焦りからか、受験直前に新しい問題集や参考書に手を出す人もいますが、新しいものを解いても、まずいいことがないのでやめましょう。問題集のレベルが合わなかったり、模範解答の解き方が自分の今までの解き方と違っていたり、知らないことがたくさん載っていて必要以上に焦ったりと、受験直前ではリスクが高すぎます。

新しい問題を解きたいのなら、過去問などの入試問題を解きましょう。入試問題は全て新しい問題なのだから、今さら新しい問題集を買う必要はありません。使い古した今までの問題集で十分です。



④やってはいけない なぜかペースダウンする

「入試直前だから」という意味不明な言い訳で、直前になると勉強の手を緩める人がいます。誰が言ったか知らないけれど「入試直前はジタバタせずゆっくり過ごして体調を整えよう」みたいな無責任極まりない甘〜い言葉に、まんまと乗っかってしまうのです。

ただ、体調管理にはくれぐれも注意しましょう。時間がないからと、徹夜で勉強するのはやめましょう。朝型生活に！

まとめ 実践的な問題演習を多く取り入れ、アウトプットの精度を高めることが

今からの受験まで必要な勉強です。
入試問題⇒苦手復習や時間の使い方・解き方の修正。

これをしっかり繰り返していくと、まだまだ伸びます。